

事業所名

児童発達支援 りんく

支援プログラム (参考様式)

作成日

2025 年

1 月

9 日

法人 (事業所) 理念		「できた」を共感し「生きる力」を育む						
支援方針		【「できた」を共感】を方針に子どもたちに、遊びを通じて、子どもたちが「できた」ことに寄り添い共感していきます。 【「生きる力」を育む】は、生活に大切な身辺自立や社会に出ていくときの社会マナーを個別活動や集団活動で伝えていきます。 子ども一人一人の個性や長所を大切にしながら支援をしていきます。						
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で体を動かすことで、身体の使い方を学んでいきます。 鞆の中の整理、片付けを行うことで、時間と物を大切にすることを支援します。 生活に必要な排泄・着替え・食事のマナーや行動を学んでいきます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で身体を動かすことで、体幹トレーニングや手先・指先トレーニングを支援します。 子どもたち一人一人に合わせて、トレーニングを行い支援します。 子どもたちの感覚を活かして、遊びを通して支援します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な行動や認知があった場合には、具体的に話し合って支援します。 情緒面からの行動に対しては、落ち着ける環境整理を行い、支援します。 本人が困っていることを、聞き取りながら支援します。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたち同士でコミュニケーションを行う時に、行き違いがあった場合は互いの意見を調整して支援します。 相手に伝えるための、言葉を選びや発信方法を、子どもに成長に合わせて、支援します。 視覚情報で情報を発信することで、職員との認識を共有します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 遊びを通して、友達との人間関係や社会性を学びます。 子どもたち同士で、相手の気持ちや思いを聞きながら適切な対応ができるように支援します。 社会マナーを活動や遊びを通して、子どもたちに合わせて支援します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 保護者の生活を助けるため、送迎や延長支援を実地します。 保護者の悩みや相談をSNSや電話で受け付けます。 兄弟児と関係の悩みを受け付けてます。 			移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 地域の公園や図書館など、公共施設を知って、保護者との情報共有して、地域で暮らすイメージを持てる支援します。 地域の他事業所を利用する際には、情報共有してます。 		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談事業所とは、家庭状況や支援内容を共有します。 地域の施設に参加します。 			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 年間予定表を基づいて研修を実地します。 月1回のスキルアップ研修を実地します。 定期的な委員会を行い、研修計画を実地します。 		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 初詣 節分 花見 祭り ハロウィン クリスマスなど季節の行事します。 祝日や長期休暇では、昼食レクリエーションやおやつレクリエーションを実地します。 						